

佳作

大人になるということ

秋田県大仙市立中仙中学校

1年 小田嶋 真穂

「大人」とは何なのでしょう。

20歳になったら、仕事を始めたら、自分でお金を稼げるようになったら、などこの質問には三者三様の答えがあると思います。この質問に、誰が聞いても納得できる答えを出せる人はいないのではないのでしょうか。私も自信はありません。なぜなら、「大人」という言葉には、明確な定義がないからです。それなのに、なぜ世の中には「大人の言うことを聞いて」や「大人が決めたことだから」などという曖昧な意味の言葉や、それを使う人がこんなにもたくさんいるのでしょうか。自分たちが昔言われていた言葉だからといって、次世代の子どもたちにもその言葉をそのまま「話していい」という大人の常識が私は嫌いです。もちろん、全員の大人がそんな考えをしているわけではないということは分かっています。だから、私が大人になったときには、そういった固定概念を誰にも押し付けたくない人になってください。

「今」の私は、家族の元を離れ、何でも自分で決められるようになることが、「大人になる」といえるのではないかと思います。例えば、何時に起きて、何時に何をして、何時に寝たとしても誰にも何も言われなくていいということや、友達と遊びに行くときに、誰の許可も取らなくていいということなどです。今の私は、早く自由になりたいくて、とてもうずうずしています。なぜなら、今の生活は何をするにしても家族の許可、「大人」の付き添いなどが必要になってくるからです。最近、幼いころには感じなかったことを感じるようになりました。それは、今の生活はいろいろな人・ものに守られていて安心できるけれど、とても窮屈だということです。その感覚を忘れずに、大人になったときに解放された喜びをかみしめてください。

一方で、自由になるということは、私の言動に誰も責任をとってくれなくなるということでもあります。今までは家族がやってくれていたことの多くを、自分でやらなければならなくなります。これは、大人になると当たり前になることだけれど、今の私にとっては耐えられず、とても怖いことでもあります。しかし、「今」の私が何を考えても、何を話しても、私が成長して大人になっていくスピードは決して変わりません。反対に考えると、何もしなくても自分が気づかないうちに、大人になっていくということです。そうなのであれば、今の生活に何かしらの楽しみを見つけられた人が、将来その経験を生かして自分

の言動に責任をとれる人になれるのだと私は考えます。自分の責任を意識して行動できるような、理想の「大人」を追い求めてみてください。

未来の私に聞きたいことがあります。私の「今」の夢はかなっているでしょうか？ 私の今の夢は本に関わる仕事に就くことです。本の編集者や本屋の店員など、本を「売る・作る側」の人になりたいと思っています。今までは、私が本を「買う・読む側」だったので大人になったら、本が作られてから販売されるまでの過程を自分の目で見てみたいです。また、本のおかげで私の趣味が読書になったように、今度は私が子どもからお年寄りまで、いろいろな年齢層の人に、私がとりつかれた本の魅力を伝えられる人になりたいです。もしこの夢がかなっているのであれば、大好きな本に関わることができて、将来の私はとても幸せなのではないかと思います。もし、その夢がかなっていなかったとしても、本について語り合える友達はいますか？ 私のもう一つの小さな夢である、「本の趣味が合う友達をつくること」ができていれば、今の私はとても満足です。その友達への感謝を忘れずに大切にしてください。

きっと、自分でも信じられないくらいあっという間に時間が過ぎ、すぐに「大人」になってしまうと思います。この作文を懐かしく読み返すその日に、笑顔で思い出をふりかえることができるように、これから後悔しない選択をしていきたいです。

待ちわびていた「大人」になった気分はどうですか？ 大人になった私にはどんな景色が見えているのか、今からとてもわくわくしています。「大人」とは何なのか、自分なりの答えを、成長した私が見つけてくれることを期待しています。